

医療機関等との関係の透明性に関する指針

サクラ精機は感染防止事業、病理事業など複数の事業に亘ってソリューションを提供しており、日本医療機器連合会の会員企業として同連合会の定める「医療機器業界における医療機関等との透明性ガイドライン」に基づき下記の方針を策定いたしました。

1. 指針策定にあたって

当社は、医機連の会員企業として、医機連で定める「倫理綱領」、「企業行動憲章」、「医療機器業プロモーションコード」及び医療機器業公正取引協議会が定める「医療機器業公正競争規約」をはじめとする関係諸規範とそれらの精神に従い、医療機関等との関係の透明性に関する企業活動の情報を公開いたします。

2. 公開方法

当社ホームページ等を通じ、前年度分の資金提供について当社決算終了後、適切な時期に公開いたします。

(例-公開時期 2014年度分【2013年10月1日～2014年9月30日】を決算終了後、2015年度の適切な時期に公開致します。以降は、前年度分の資金提供について、当社決算終了後の適切な時期に公開いたします。)

3. 公開対象

A. 研究費開発費等

公的規制の基で実施される各種試験、報告、調査等（臨床試験、治験、製造販売後臨床試験、不具合・感染症症例報告、製造販売後調査等）及び企業が独自に行う調査等の費用が含まれます。

- | | |
|----------------|-------|
| ● 共同研究費 | 年間の総額 |
| ● 委託研究費 | 年間の総額 |
| ● 臨床試験費 | 年間の総額 |
| ● 製造販売後臨床試験費 | 年間の総額 |
| ● 不具合・感染症症例報告費 | 年間の総額 |
| ● 製造販売後調査費 | 年間の総額 |

B. 学術研究助成費

医療技術の学術振興や研究助成を目的として行われる奨励寄附金、一般寄付金及び学会等の会合開催を支援するための学会寄附金、学会共催費が含まれます。

- | | | | |
|---------|----------------------|---|--------|
| ● 奨学寄附金 | 〇〇大学〇〇教室 | : | 〇〇件〇〇円 |
| ● 一般寄附金 | 〇〇大学（〇〇財団） | : | 〇〇件〇〇円 |
| ● 学会寄附金 | 第〇回〇〇学会（〇〇地方会・〇〇研究会） | : | 〇〇円 |
| ● 学会共催費 | 第〇回〇〇学会〇〇セミナー | : | 〇〇円 |

C. 原稿執筆料等

当社医療機器・体外診断用医薬品の適正使用等に関する情報提供のための講演や原稿執筆・監修、コンサルティング等業務委託に関する費用が含まれます。

- 講師謝金 年間総額 ○○円
 - (i) ○○大学(○○病院)○○科○○教授(部長) :
 - (ii) ○○大学(○○病院)○○科○○教授(部長) :
- 原稿執筆料・監修料 年間総額 ○○円
 - (i) ○○大学(○○病院)○○科○○教授(部長) :
- コンサルティング等業務委託費 年間総額 ○○円
 - (i) ○○大学(○○病院)○○科○○教授(部長) :

詳細の内容について開示要請があった場合には以下の通り開示を行います。

- 講師謝金 ○○大学(○○病院)○○科○○教授(部長) : ○○件○○円
- 原稿執筆料・監修料 ○○大学(○○病院)○○科○○教授(部長) : ○○件○○円
- コンサルティング等業務委託費 ○○大学(○○病院)○○科○○教授(部長) : ○○件○○円

詳細開示を希望の場合は「公開情報」－「支払内容の詳細閲覧を申請する」ボタンより問合せをお願いいたします。

D. 情報提供関連費

医療関係者に対する当社医療機器・体外診断用医薬品の適正使用、安全使用の為に必要な講演会、模擬実技指導、説明会等の費用が含まれます。

- 講演会費 年間の件数・総額
- 説明会費 年間の件数・総額
- 医学・医療工学関連文献等提供費 年間の総額

E. その他の費用

社会的儀礼としての接遇等の費用が含まれます。

- 接遇等費用 年間の総額

以上